

「適切なケアマネジメント手法」脳血管疾患 Ⅰ期（病状が安定し、自宅での生活を送ることが出来るようにする時期）・Ⅱ期（病状が安定して、個別性を踏まえた生活の充足に向けた設計をする時期）をみていきましょう。

想定される支援内容				省察（振り返り）		多職種連携・多機関連携	
大項目	中項目	小項目	想定される支援内容	① 聞きもれ、確認漏れしていた、 アセスメント／モニタリング（情報や視点）	② どのように確認していくか （いつ）	連携する職種や社会資源 （だれに）	具体的連携方法 （どのように）
Ⅱ これまでの生活の尊重 と継続の支援	Ⅱ-3 家事・コミュ ニティでの役割の継 持あるいは獲得の支援	Ⅱ-3-1 喜びや楽しみ、強 みを引き出し高める支援	35 喜びや楽しみ、強み を引き出し高める支 援	1 日、1 週間の過ごし方は確認したが、月単位、年単位で過ごし方の情報が不足していた	モニタリングの際に月単位、年単位の過ごし方等確認する。		
Ⅰ 期 1 再発予防	再発予防						
2 生 活 機 能 の維持・向 上							
Ⅱ 期 1 継 続 的 な 再発予防							
2 セルフマ ネジメン トへの移 行							